テストに出る!!

バスフィッシングにまつわるさまざまな事柄を、基礎的なことから学んでいく本企画。
今回はフィールドに出たときの必携ツール、プライヤーの選び方について教えてもらった。
これで理解を深めたら、最終ページのテストにトライしてプレゼントをゲットしよう！

BASS FISHING

LURE 1BAN梅田＝協力　宮澤豊＝写真・テキスト　岡田寿一＝イラスト

講師
池田和彦氏

オフィス街にあり、駅からのアクセスも抜群の立地にあるLURE 1BAN梅田の店長を務める。ビギナーからベテランまで、親切に優しく答えてくれる

第30回 プライヤーの選び方を知る

釣りをするうえでプライヤーは絶対に必要

バスフィッシングをはじめるとき、ショップに行ってロッドやリール、ラインにルアー…と選んでいくのは当然のことだが、絶対に忘れてはならないもののひとつとして、プライヤーの名前を挙げたい。主な役割はバスが釣れたときに、その口から安全にルアーを外すというもの。これをフィールドに持っていくのを忘れてしまうと、せっかくキャッチしたファーストバスを、リリースできずに傷つけてしまうことも考えられる。

フィッシングプライヤーとして売られているものは、ルアーを外す機能だけでなく、釣りをする上で必要になってくるプラスαの機能が付いているものがほとんど。だからホームセンターで安売りをしているラジオペンチとはまったく違うものといってもいいだろう。予算はタックルやルアーにかけてしまうのは仕方がないが、実はプライヤーもちゃんとしてものを持っていた方がいい。ソルトウォーターアングラーが使っているプライヤーの中には2万円を越えるものもある。

プライヤーの種類も豊富、無敵の品揃え

今回はプライヤーのことについてお話を伺ったが、その品揃えは圧倒されるほど。ルアーもバスはもちろん、トラウト、ソルトウォーターなど、人気の商品が揃う。本格的なルアーのプロショップだ

1時限目 プライヤーの役割とは

最初に購入するものはニッパー付きで丈夫なもの

プライヤーはバスの口に掛かったフックを、魚を傷めずに素早く、そしてアングラーが安全に外すためのツールである。その種類は多く、ショップに行くとどれを買っていいのか迷ってしまう。値段にもバラつきがあり、安価なものはステンレスの板をカットし、それを合わせて作っているものが多く、コンパクトで軽量なので持ち運びに便利。だが、フックを外すときに強い力を入れると曲がってしまうという強度的な問題があることも知っておかなくてはならない。

そして、値段が高いものは丈夫で長持ちし、作りの精度が高く、使っているマテリアルもサビ難い高価なものを使っているケースが多い。プライヤーを長持ちさせるためには、サビないようにすることが必要で、使ってそのままの状態で保管していると、先端部がサビたり、結合部にサビが生じて先端の開閉がスムーズにいかなくなることも多い。

それと、プライヤーは使えなくなって買い換えるというよりも、いつの間にか手元からなくなっているということが多いツールである。紛失しないようにするため、ケースに入れる、もしくはスパイラルコードを取り付けておくのがいいだろう。こうすることによって、滑り落ちて水中に落としてしまうこともなくなる。

また、最初持つプライヤーとしては、使うルアーのフックが切断できるぐらいの強度を持つニッパーが付いているモデルがオススメ。というのは、ルアーフィッシングは安全面に気をつけていても、万が一のケースが想定でき、フックが体の一部に刺さってしまったとき、最初の処置として、フックを切断する必要があるからだ。フックが切れるニッパー付きのプライヤーとなると、大きさは必然的にコンパクトなものではなくなる。それでも安全面のことを考えれば、多少重くてもそれを持っておくのがいいだろう。

魚を傷めないためには素早いリリースが必要

プライヤーを持っていないと、手だけでフックを魚の口から外せない場合に、最悪のケースは魚を死に至らしめてしまうこともある。だから必需品なのだ

オイルを注して定期的にメンテナンスを

フィッシングプライヤーはサビに強いが、汚水域で使ったときなどはサビが発生することも多い。定期的に可動部へ潤滑油を注すと良好な使用感が持続する

2時限目 優先させる機能で先端の形状が変わる

便利な機能を持つスプリットリングプライヤー

フィッシングプライヤーにはさまざまな機能が備わったものがある。その中でも最も便利な一本がスプリットリングプライヤーだ。これは先端に、スプリットリングを外す、もしくは開けてフックを交換することができる、特殊な形状をした工具が付いている。ちなみに、これが付いていても、フックを外すプライヤーとしの機能は大きくは損なわない。

また、最近のアングラーの多くは、プラグのアイに付いているスプリットリングを外し、スナップで接続することが多くなっている。そのためには、スプリットリングオープナーの機能は、必要不可欠な要素になっている。

ベーシックな一本

スプリットリング外し

スプリットリングのワイヤーの間に突起を差し込むことで開くことができる。この機能がないときには爪でこじあけることもできるが、連続して行なうと爪が割れることもある

ワイヤー曲げ

穴の中にワイヤーを入れ、テコの原理を応用すると簡単に曲げることができる。スピナーベイトやバズベイトのアーム、またはフックを曲げるときなどに使う。太いラインの締め込みなどにも使う

ニッパー

万が一フックが体に刺さった場合には、病院に行く際にもフックとルアー本体を離しておかないと、本体が揺れるたびに痛みを感じてしまう。そのためにも、フックを切断できるニッパーがあると便利

滑りにくいラバーグリップ

雨で濡れたときや、強い力を入れてプライヤーを使うときに、グリップが滑ると作業にならない。そのためにも滑り止め加工がしてあるものが絶対にいい

紛失防止用のコードを取り付ける穴

作業をするときにジャマにならないグリップの部分に穴が開いていると、紛失防止のスパイラルコードなどを取り付けられるので、非常に便利

バレーヒル／スプリットリングプライヤーM ストレートタイプ

丈夫なニッパーが付いた、先端の形状がストレートのスプリットリングプライヤーは、バスアングラーが最初に購入する1本としてベーシックな機能を備えたモデルとしてオススメ

紛失を防止するためのグッズ

OFT／スパイラルコード

プライヤーに穴があるものに取り付けることができるスパイラルコード。プライヤーは使いたいときに手元にないのが一番困るので、その対策として活用することができる。ワンタッチで外せる

L.S.D.／プライヤーホルダー

カラビナ付きのホルダー。プライヤーの落下防止ベルト、リーシュコード用のD環、バッグやベルトに取り付けられるベルトループを装備

先端の形状はカーブもある

プライヤーの先端部分の形状にはストレートタイプとカーブドタイプがあり、スプリットリングオープナーを使う場合は、ストレートタイプが使いやすい。カーブドの利点は、ノドの奥にフックが掛かったときに、アングラーがフックの位置を確認しやすいということである

バレーヒル／フックプライヤーM　先曲がりタイプ

上の写真でベーシックな1本として紹介したモデルと大きさは同じだが、フック外しの機能に特化し、スプリットリングプライヤーとしての機能がないモデル

3時限目 ある機能に特化したプライヤーを知る

売り場にあるプライヤーどんな特徴があるのか？

ショップに並んでいるプライヤーには豊富な種類があり、それぞれが個性的な表情を持っている。その機能はフック外しだけではなく、ものによってはPEラインカッターやスプリットショットオープナー、またカンツリなどではバーブレスフックの使用が義務付けられているので、それに対応するためのバーブ潰しなどとさまざま。サイズもピンオンリールをライジャケやベストに取り付け、そこに付けられるコンパクトなものから、バスはもちろん、ソルトウォーターのターゲットにまで対応するモデルもある。バスフィッシングだけでなく、他の釣りをする人は、そういったことも考えて便利な機能がついたプライヤーを選ぶといいだろう。また、プライヤーについている機能を、より専門的にしたツールを番外編として紹介する。

正解は釣った魚の唇を掴むリッピングギア。そうすることによって、安全にルアーを外せる

ライトラインを傷めずにマス針を外せる

スノーピークのオリジナルスリット機構は、このスリットにラインを挟んでフックに迫りつくことができるというもの。光量がないときにマスバリを飲み込まれた場合など、よく見えない状態でもプライヤーの先にフックを挟んで外すことできる。

ローライトコンディションと絶好の時間帯に、フックをはずす時間のロスも最小限に抑えられる便利な機能

スノーピーク／フックリリースPro.150

オリジナルのスリット機構のほかに、PE＆ナイロンライン専用のカッターなども付いたプライヤー。本体は二重のメッキ加工で錆び難くなっている。日本製

ノドの奥に刺さったトリプルフックを素早く取り外せる

ツーシームのオリジナル機能であるサイドアームシステムは、魚の口の奥にフックが掛かった場合、フックのゲイブを引っ掛けて突き出すようにして外すことができる。トリプルフックが口の奥に掛かったときには外すのが困難なので、重宝する機能といえる。ちなみに、本来はシーバスアングラーのために作られたプライヤーの機能のひとつである

ツーシーム／サイドアーム

ロングノーズ仕様。パッケージには「シーバス・チャーターボートのキャプテン考案」と記されている。プロ愛用のモデルだ

コンパクトでありながら機能が充実

極小のスプリットリングに対応するオープナーと、飲まれたフックを外しやすいロングノーズ設計。ナイロン＆フロロライン専用のカッター。片手でも開けやすいスプリング付き（親指一本で操作可能なワンタッチストッパー付き）。滑り難く、蓄光になっている樹脂グリップなど、多機能なプライヤー。ピンオンリールを取り付けられる穴もデザインされている

非常にコンパクトなので、ショアアングラーに人気のモデル。ヒップバッグなどにピンオンリールを取り付けてセットすれば、瞬時に使え、また紛失の防止にもなる

ダイワ／プチプライヤー110H

プライヤーの全長が110mmと非常にコンパクトなサイズが人気のプチシリーズ。丈夫なプライヤーをボックスの中に入れ、これを持ち歩くというスタイルにも対応する

番外編

ダイワ／プチリングオープナーM

ダイワのプチシリーズのリングオープナー。全長は60mmとコンパクトで携帯に便利。ルアーボックスにも収まりのいいサイズ。適合リングのサイズは#2〜5。ピンオンリールを取り付ける穴も装備されている

スミス／スプリットリング・ピンセット

小型のサスペンドシャッドなどに付いているスプリットリングの極小サイズ、#0〜3に対応するスプリットリングオープナー。小さいリングはサイズが合わないオープナーで無理やりこじ開けるとワイヤーが伸びてしまうので、こういった専用の工具が必要になる

フィールドファクトリー／ファクトリーII

携帯するときに完全収納できるので、安全な刃先収納タイプ。通常のハサミは穴の中に指を入れないと機能しないが、このタイプは瞬時に使えるのが特徴。これが今も支持されている理由。ハサミはPEラインも切れる

4時限目 Q&A

Q ライギョの口からフックを外すプライヤーはどれがいいですか？

A ライギョ専用モデルがあります。

バスアングラーの方の中には、ライギョが苦手な人も多いと聞きますが、ライギョは鋭い歯を持っているので、噛まれると大変なことになります。口を閉じるとなかなか開かず、これを開けるのには、専用のオープナーを使って開けます。専用なので、ライギョへ与えるダメージ

スミス／グロッサ・メタリCDX

ライギョマンが開発した、ライギョ専用のオープナー。先端部はホールド性を高めるためのフラット形状。魚へのダメージを少なくす

品揃え豊富なプライヤーを在庫しているLURE 1BAN梅田の池田氏に、バスワールドからの質問に答えてもらった。フィールドで取材を行なっている記者がよく耳にする質問なので、ぜひご一読のほどを。また、実店舗にいけば、より詳しく質問に答えてくれるので、分からない